

平成26年度 健康教育推進学校表彰 花陵中と出水南小が全国最優秀校に！

日本学校保健会主催「平成26年度 健康教育推進学校表彰」において、都道府県・政令指定都市から推薦された103校の中から、熊本市立花陵中学校と出水南小学校の2校が最優秀校に選ばれました。



(上) 5・6年生の歯みがきリーダー勉強会
(下) スイゼンジモヤシづくりに挑戦（出水南小）

健康教育推進学校表彰について

全国最優秀校となった両校は、いずれも健康教育を学校経営の基盤に据え、学校での教育活動全体を通して健康教育の推進に取り組んでいます。

特色ある活動として、花陵中学校では学校歯科医のアドバイスのもと給食後の歯みがきを徹底する「歯ピカ運動」などに取り組み、出水南小学校では、熊本支援学校（小学部）を招いての交流集会の開催や5・6年生の保健委員を「歯みがきリーダー」として育成したり、地元農家の協力のもと、スイゼンジモヤシづくりに挑戦したりしています。

本市では、児童生徒が健やかな学校生活を送るとともに、生涯にわたって健康的な生活習慣を身につけることができるよう、家庭や地域及び関係機関等と連携しながら様々な取組を進めています。



「歯ピカ運動」に取り組む生徒達（花陵中）

<問い合わせ先> 健康教育課 TEL 328-2728

check! 教育委員会の広報誌は熊本市のホームページでも見るができます

熊本市ホームページ (<http://www.city.kumamoto.jp/>) > 分類から探す > 学び・観光・スポーツ > 教育・学校・青少年・若者 > 教育・学校の情報

with you (ウィズ・ユー) についてのご意見・ご要望をお寄せ下さい。

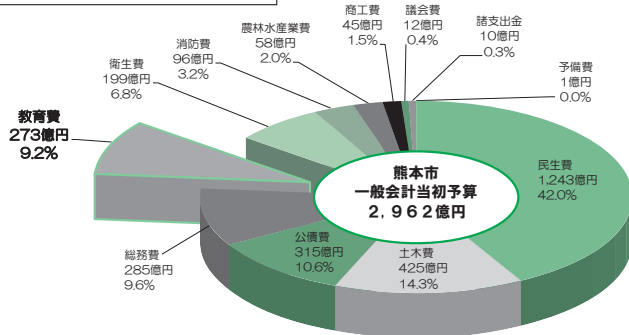
編集・発行 〒860-8601 熊本市中央区手取本町1-1 熊本市教育委員会教育政策課

TEL 096-328-2704 FAX 096-359-6951 e-mail: kyouikuseisaku@city.kumamoto.lg.jp

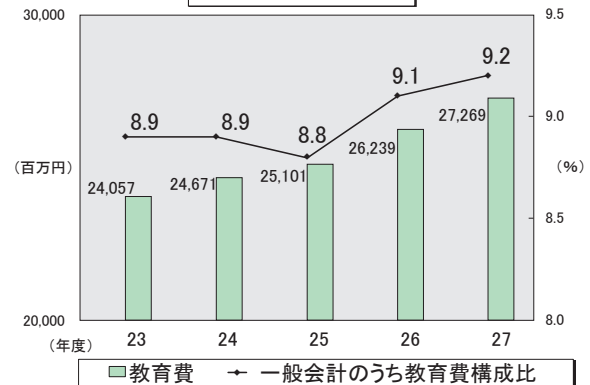
●平成27年度 教育予算と重点的に取り組む事業

本市の教育の目指すべき姿を示した「熊本市教育振興基本計画」の実現に向けた平成27年度の教育予算と重点的に取り組む主な事業を紹介します。

熊本市の一般会計における教育費



熊本市の教育費年次推移



平成27年度の熊本市の教育に関する予算は、熊本市の一般会計全体の約9%となっています。

また、熊本市の一般会計は、前年度からの増加73億円のうち、25億円は学校教育等の取組を行っている教育委員会分の増加となっています。

●中学校空調設置経費（新規事業）

普通教室へのエアコンの設置を行います！

子どもたちの学習環境の改善のため、小中学校の普通教室へ、空調設備設置に向けた準備を行います。今年度は全中学校の普通教室の空調設備設計を行います。



和楽器を体験する様子

●感性をみがく教育の推進

本物の芸術にふれる体験をすることや各分野で活躍される方の講話を直接聞くことにより、子どもたちに夢や希望を与え、豊かな感性や多様な個性を育みます。

●道徳教育総合支援事業（拡充事業）

郷土出身で各分野において活躍している人を講師として招聘し、直接体験談等を語っていただきます。子どもたちに夢を抱かせ感動を与えることにより、心の教育の充実を図ります。



動物愛護センター職員の話から命の大切さを学ぶ

●ブラッシュアップイングリッシュ事業（拡充事業）

A L T（外国語指導助手）の更なる活用や、コミュニケーションを体験する場面の設定など外国語教育を推進し、英語力の向上を図ります。

今年もイングリッシュ・キャンプを実施します！

夏休み期間中に、市立中学校の生徒を対象として、「イングリッシュ・キャンプ」を実施します。このキャンプは昨年度初めて行いましたが、参加した皆さんから、参加してよかったという声がたくさん聞かれました。そこで、本年度は回数を3回に増やし、より多くの中学生が参加できるようにします。A L Tとともに、オールイングリッシュによる生活を体験することで、コミュニケーション能力を高め、英語や国際理解に対する興味・関心を高めることをねらいとしています。

詳しくは、学校で配布される実施要項をご覧ください。

- 期 日**
- ・第1回 平成27年8月19日（水）～21日（金）
 - ・第2回 // 8月28日（金）～29日（土）
 - ・第3回 // 8月29日（土）～30日（日）

場 所 ・金峰山少年自然の家（熊本市西区池上町3071-5）

参加費 ・4,000円～5,000円程度

定 員 ・各回70人程度



●「学びノート教室」開催経費



全小学校において、放課後や夏休みなどの時間を利用して、3年生以上の希望者を対象に、基礎的・基本的な学習内容を習得するための「学びノート教室」を開催します。

●日本語力向上経費（新規事業）

落語家、絵本作家、アナウンサーを講師として小中学校へ招き、日本語の美しさや楽しさなどにふれることで、子どもたちの日本語力（言葉の力）の育成を図ります。

●教職員資質向上経費

教育都市くまもとの教職員像にふさわしい、確かな授業力の向上を目的に、若手教員を対象とした教師塾「きらり」を実施します。



教師塾「きらり」の様子

●平成さくら支援学校建設事業（拡充事業）

特別支援学校高等部（平成さくら支援学校）の平成29年4月の開校に向け、今年度から校舎建設工事に入ります。生徒の自立・社会参加を支援するとともに、本市の特別支援教育の拠点となる学校をめざして、開校準備を進めていきます。



学校建設予定地

【学校の概要】

- ・対象障がい種：知的障害
- ・設置学科・学級：普通科・一般学級
- ・対象者：重度・中度（一部軽度）
- ・定員数：1学年3学級 24人程度（開校初年度1年生のみ入学）
- ・住 所：南区平成2丁目20-1

●博物館展示整備経費（拡充事業）

新たに展示環境を見直すことで、さらに魅力のある総合博物館へとリニューアルを行います。平成27年度から本格的なリニューアル事業（建築工事・展示工事）に着手します。

●学力向上対策経費

小学校3・4年生の算数の授業に、学力向上支援員を派遣し、児童と一緒に授業に参加し、児童一人ひとりに対して、直接学習支援を行います。

●管理職リーダーシップ向上経費

管理職としての課題解決力を高めるとともに、学校における組織マネジメントにより、リーダーシップを発揮し、活気ある職場づくりを行うことができるよう、新任の校長、教頭と園長を対象にした研修を実施します。



管理職研修の様子

●ICT環境充実事業（新規事業）

モデル校（小中学校各1校）の特別支援学級においてタブレット端末を導入し、活用することにより、個々の障がいの特性に応じた、より効果的な学習モデルの研究検証を行います。

●学級支援員派遣経費（拡充事業）

子どもたちが安全に活動できるよう、担任の補助を行う学級支援員を配置します。

●スクールソーシャルワーカー配置事業

学校、家庭、関係機関等との連絡調整を進め、子どもに関わる課題や環境の改善を行うスクールソーシャルワーカー6人を配置します。

●スクールカウンセラー配置事業

いじめ、不登校などの問題行動等に関して、専門的な知識や技能をもったスクールカウンセラーを全中学校に対応できるよう配置します。

●学校・地域連携推進事業

地域に開かれた学校づくりを進めるための学校支援ボランティア等の地域人材の活用を進めます。



農業従事者のボランティアによる田植え体験支援



図書ボランティアによる読み聞かせ

●小中学校の教科書を閲覧してみませんか～教科書展示会の開催～

本年度は、中学校の教科書採択の年にあたります。教科書を採択するにあたって、広く市民の皆様へ学校で使用されている教科書について、理解や関心を深めていただくため、6月19日（金）から7月2日（木）まで、教科書展示会（主催：熊本県教育委員会）が開催されます。

採択の対象となる中学校のすべての検定済教科書の見本と、現在小学校で使用されている教科書が展示され、意見箱も設置していますので、ぜひ会場へお出かけください。



昨年度の展示会の様子

展示会場一覧

※ 会場によって開館時間、休館日等が異なりますので、ご注意ください。

・熊本市教育センター 中央区千葉城町2-35 ☎096-359-3200	・幸田公民館 南区幸田2丁目4-1 ☎096-379-0211
・熊本大学教育学部附属小学校 中央区京町本丁5-12 ☎096-356-2492	・西部公民館 西区小島2丁目7-1 ☎096-329-7205
・県立熊本聾学校 東区東町3丁目14-2 ☎096-368-2135	・龍田公民館 北区龍田弓削1丁目1-10 ☎096-339-3322
・県立図書館 中央区出水2丁目5-1 ☎096-384-5000	・植木公民館 北区植木町岩野238-1 ☎096-272-6906
	・火の君文化センター 南区城南町舞原394-1 ☎0964-28-1800

<問い合わせ先> 指導課 TEL 328-2721

●“いじめは絶対に許さない！”～6月は「いじめ根絶強化月間」です～

いじめは心や身体を傷つける許されない行為です。いじめ問題の根絶に向けて、ご家庭で子どもと「いじめを受けていないか、人に嫌な思いをさせていないか」について話をしましょう。

また地域では子どもたちをしっかりと見守り、温かい声かけをお願いします。

本市は6月を「いじめ根絶強化月間」として、各学校においてもいじめ根絶に向けた取り組みを行います。

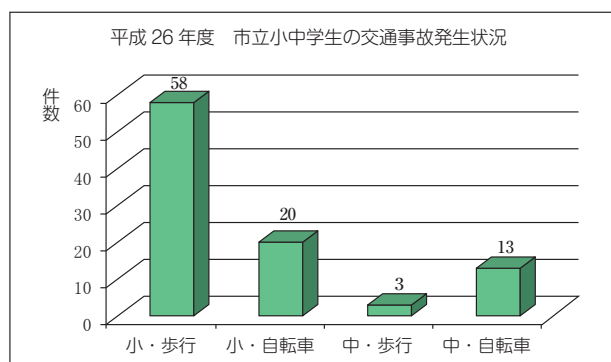
【昨年度の取り組み例】

- ・ いじめのサインを見逃さないために、子どもたち全員から学校生活の様子を聞きました。
- ・ いじめが起こりにくい集団をつくるために、全校集会で校長が「一秒の言葉」という言葉遣いを考える詩を紹介し、相手の気持ちを考えて言葉を遣うことの大切さについて話しました。

<問い合わせ先> 総合支援課 TEL 328-2743

●自転車乗車時はヘルメットをかぶりましょう

自転車死亡事故の約6割は頭部損傷ですが、ヘルメットを着用した場合、頭部損傷による死者の割合は約1/4に低減します。（公益財団法人 交通事故総合分析センター『ITARDA INFORMATION 交通事故分析レポート』No.97参考）また、13歳未満の子どもを自転車に乗せる場合は、保護者はヘルメットを着用させる努力義務があります。自転車も車両です。「自転車安全利用五則」を守り、安全に自転車を利用しましょう。



自転車安全利用五則

- ① 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- ② 車道は左側を通行、右側通行は禁止
- ③ 歩道は歩行者優先で、自転車は車道寄りを徐行
- ④ 安全ルールを守る。
《飲酒運転は禁止、二人乗りは禁止、並進は禁止、夜間はライトを点灯、信号を守る、交差点では一時停止と安全確認》
- ⑤ 子どもはヘルメットを着用

<問い合わせ先> 健康教育課 TEL 328-2728

●みんなで考える情報モラル

スマートフォンやSNSの急激な普及により、「ネットいじめ」や「スマホ依存」など、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化しています。このような情報モラルに対する課題を解決するためには、学校と保護者や地域が連携した取り組みを推進する必要があります。

教育委員会では、本年度から各小中学校に「情報モラル教育推進リーダー」を設置するとともに、情報モラルキャラバンや情報モラル教育セミナーを行い、情報モラル教育の充実を図ります。

●情報モラルキャラバン

授業参観やPTA研修会などの機会を通して、子どもたちや保護者が、スマートフォンやSNSの諸問題の現状を知り、健全な利用について学ぶために、専門家を学校へ派遣して参加型の研修や講話を行います。

平成27年6月から実施し、今後2年間で全ての学校で開催する予定です。学校を通じて開催をご案内しますので、是非ご参加ください。



●熊本市情報モラル教育セミナー

情報モラル教育に先進的に取り組んでいる本市小中学校の事例紹介や、大学から講師を招き、学校・保護者・地域の果たす役割や連携方法などについて、講話やパネルディスカッションを行います。

詳細な内容については 学校を通じてお知らせいたします。是非ご参加ください。

日 時：平成27年7月27日（月）13:00～16:30

場 所：熊本県立劇場 演劇ホール

対象者：保護者、教職員 **参加費：**無料

内 容：・兵庫県立大学 竹内和雄 准教授による講話
・本市小中学校児童生徒による取組等の発表
・学校、保護者等によるパネルディスカッション など



兵庫県立大学 竹内和雄 准教授

<問い合わせ先>教育センター TEL 359-3200

熊本博物館からのお知らせ

●企画展「くまもと自然探検」開催中です

熊本には多様な自然環境があり、そこで観察できる草花・昆虫・岩石も様々です。身近な自然の楽しみ方を紹介します。

期間 6月30日（火）まで

時間 9:00～17:00

場所 熊本博物館特別展示室

費用 無料



●プラネタリウム新番組「戦場に輝くベガ～約束の星を見上げて～」投映中です

今年は戦後70年の節目の年です。当時の貴重な証言を元に描かれた、星と人をつなぐ物語をお届けします。

期間 6月30日（火）まで

観覧料 200円

（中学生以下は100円）



●6月の催し物について（一部紹介）

「子ども科学・ものづくり教室」

①箱の中に虹を作ろう

日時 6月14日（日）13:30～15:00

場所 塚原歴史民俗資料館

費用 入館料のみ 大人200円、小中学生100円

②科学手品&液体窒素実験ショー

日時 6月27日（土）13:30～15:30

場所 熊本博物館特別展示室 **費用** 無料

「熊本の民俗文化とその魅力～民俗文化財の記録と保護に関するミニシンポジウム」

日時 6月21日（日）13:00～17:00

場所 熊本博物館特別展示室 **費用** 無料

●休館のお知らせ

熊本博物館は平成27年7月1日（水）からリニューアル工事のため休館となります。リニューアルオープンは平成29年末を予定しております。

<問い合わせ先>熊本博物館 TEL 324-3500

楽しかったね！長なわとびフェスタ！

平成26年11月から平成27年2月にかけて、体力向上を目的に「第3回熊本市わくわくチャレンジ長なわとびフェスタ」を開催し全ての小学校が参加しました。

学級単位で3分間の「8の字跳び」を行い、「目標達成」か「ランキング」かのどちらかのチャレンジ方法を選択し、記録を登録する方法です。平成26年度の優秀学校賞及びランキングチャレンジ賞は右表のとおりです。

○優秀学校賞

最優秀校	高橋小（304回）
優秀校	楡木小（287回）
	本荘小（274回）
	田原小（272回）
	松尾北小（237回）
	中緑小（237回）

○部門別ランキングチャレンジ賞

1年生の部	田原小（262回）
2年生の部	託麻東小（365回）
3年生の部	託麻南小（364回）
4年生の部	託麻原小（413回）
5年生の部	楡木小（444回）
6年生の部	黒髪小（455回）
特別支援学級の部	出水南小（329回）
複数学級合同の部	中緑小（292回）



中学生ロボコンで竜南中チームが初優勝

平成27年1月に開催された「第15回全国中学生創造ものづくり教育フェア」の「創造アイデアロボットコンテスト全国中学生大会」応用部門において、竜南中（中央区）の当時2年生3人によるチーム「ⅢSHINES」が出場し、最高位である「文部科学大臣賞」を受賞しました。

この大会は中学校の技術・家庭科の授業で学んだことを生かし、生徒が自主製作したロボットを発表する場として、全日本中学校技術・家庭科研究会の主催により行われています。2分30秒の競技時間に自分のチームのボールを相手チームのエリアに多く送り込んだチームが勝利するものです。

チームは、昨年の夏休みからロボット製作に取り組みました。様々な困難にぶつかりながらも、技術・家庭科教員の指導のもと、3人で協力し、失敗を繰り返しながら改良を重ねて創造性溢れるロボットを作りあげました。決勝戦では、相手チームを42対28で下し、初優勝となりました。

3月には大西市長に結果を報告するとともに、その動作を実演しました。



熊本市教育委員会
委員長 崎元 達郎

教育委員のひろば

「教育委員会はどう変わるのか？」

教育委員会制度は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の中で規定されていますが、同法の改正が昨年六月の国会で可決され、今年の四月一日から施行されています。その主な変更点は次の二点です。

① 現行の教育長と教育委員長を統合した新「教育長」を創設する

② 首長が主催する「総合教育会議」を設置し、教育の基本的問題を審議する

新教育長は、教育委員会の代表者（最高責任者）であり、首長が議会の同意を得たうえで直接任免します。また、教育委員会会議の議長となり、教科書採択や教職員人事などに関する執行権を有します。

新しい制度では教育委員が、旧制度のもっとも重要な理念であったレイマンコントロール（一般市民が行政の一部を制御する）をどの程度実現できるかが課題となります。

ところで、この変更点①が実施される時期は、各県、市、町の教育委員会ごとに異なります。なぜならば、この変更は、それぞれの教育長の任期の切れ目で行つことになっているからで、熊本市の場合は、現教育長の任期の切れ目である今年十二月からとなります。

変更点②については、市長部局において準備中で、やがて、第一回が開催されることとなります。エアコンの設置のよつに、予算権を持つ市長が、教育委員会がやりたかったことをやっていただくことに感謝していますが、他の案件に関しても、自由な意見交換に基づく審議が期待されます。

◆このコーナーでは、毎回、教育委員の教育に関する思いや抱負を紹介します。